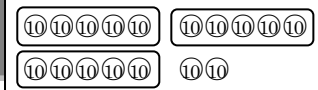


5. 本時のねらい ( 2/14時 )

余りのある3位数÷2位数の計算の仕方を考える活動を通して、10を基にしたり、図を用いたりして考えればよいことに気づき、計算の仕方を説明することができる。

【数学的な見方・考え方】

6. 本時の展開

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
<p>導入</p> <p>課題提示</p> <p>追究</p> <p>まとめ</p> <p>練習問題</p> <p>評価問題</p>	<p><b>1. 問題に取り組む。</b>            170まいの折り紙を1人に50まいずつ分けます。何人に分けられて、何まいあまるでしょう。            ・何人分を求めるからわり算で、式は<math>170 \div 50</math>だ。            ・今回は、前回とちがってあまりがある。</p> <p><b>2. 課題を確かめる。</b>            余りのある3けた÷2けたの計算のしかたをはっきりさせよう。</p> <p><b>3. 個人追究をする。</b></p> <p><b>4. 全体追究をする。</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>&lt;10をもとにして考える&gt;                170は10の17こ分                50は10の5こ分  <math>17 \div 5 = 3</math>あまり2だから、  <math>170 \div 50 = 3</math>あまり2</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>&lt;丸図を用いて考える&gt;                  ⑩が17こで5こずつ分けると、⑩が2こあまる。                だから、<math>170 \div 50 = 3</math>あまり20</p> </div> </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">あまりは2か20のどちらが正しいのだろうか。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>10をもとにした考え方のあまり2は、10が2こあるということ。だから、あまりは10が2こで20になる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>答えのたしかめをすると、                ・3あまり2のとき  <math>50 \times 3 + 2 = 152</math>                ・3あまり20のとき  <math>50 \times 3 + 20 = 170</math>                となるから、あまりは20</p> </div> </div> <p><b>5. 他の場合で考える。</b>  <math>190 \div 40</math>            10をもとにすると、<math>19 \div 4 = 4</math>あまり3            あまりの3は10が3こなので、<math>190 \div 20 = 4</math>あまり30</p> <p><b>6. 本時のまとめをする。</b>            余りのある3けた÷2けたのわり算でも、10をもとにして考えて、あまりが10のいくつ分とみれば、今までの学習を使って計算できる。</p> <p><b>7. 練習問題に取り組む。</b>            教科書p112 鉛筆2①②④⑤⑥</p> <p><b>8. 評価問題に取り組む。</b>            教科書p112 鉛筆3 計算の仕方を書く。</p>	<p>・共通点や相違点を問い、前時と同じように、10を基にしたり、図を用いて考えたりすればよさそうだということや、余りがあることに気付かせる。  <b>(研究の重点1)</b></p> <p>・考えが進まない児童に対しては、前時の学習を振り返らせ、丸図などを用いて考えられるようにする。</p> <p>・余りは2と20どちらが正しいかを問い、10を基にした考えで、余りを2としている児童の考えから、余りの2が10の2個分であることを考察できるようにする。</p> <p>・どちらの考え方も、10を基にして考えていることから、前時の学習と統合させる。</p> <p>・他の式でも同じように考えられるかを問い、計算の仕方を根拠を明らかにして記述させ、統合化を図る。  <b>(研究の重点2)</b></p> <p>・10を基にして、余りの意味を考えて計算の仕方を記述しているかを見届ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【評価規準】</b>            余りのある3位数÷2位数の計算で、10を基にして考え、あまりがいくつになるかの根拠を説明している。  <b>【数学的な見方・考え方】</b></p> </div>

